

皇子山中学校

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育を実践する

【学校 目標】

○「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒の育成

【現状と課題】

○視点1 学習者エージェンシーに課題があり、困難な課題を解決しようとする態度や、知識を活用することに課題がある。

(1)すべての授業で、協働的に学ぶ課題をしかけ、「学びたい」気持ちをはぐくむ。

(2)一人一台端末を、特に個別最適な学びの実現に活用し、自分の興味・関心に応じた知識を身に付ける機会を提供する。

○視点2 互いの違うところを理解し、尊重することができる。他者とつながる際に、適切な距離を理解できない点が課題である。

○視点3 すべての教職員が、校内研究を通して「目指す子どもの姿」を共有することができている。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できているかに視点を置いた校内研究に取り組む。 ②一人一台端末を活用した個別最適な学習について、事例共有をする。	①学校評価アンケート(生徒)項目1:「授業にしっかり取り組んでいる。」評価点0.85以上		
	①学校評価アンケート(教師)項目1:「主体的・対話的で深い学びのある授業を進めている。」評価点0.80以上		
	②学校評価アンケート(保護者)項目10「教師はタブレットを使用するなどして指導方法を改善しようとしている。」評価点0.80以上		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①毎授業において「共に学ぶ」時間・課題をしかるとともに、授業者が「学び方」や互いの関係性についての評価を伝える。	①学校評価アンケート(生徒)項目7:「生徒同士お互いを認め合って生活できていると思う。」評価点0.85以上		
	②学校評価アンケート(教師)項目11:「互いを高め合う集団(学級)づくりに取り組んでいる。」評価点0.80以上		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究会の度に、「目指す子どもの姿」を共有し、今の本校生徒の状況を比較し、各自の授業改善の手立てを見直す。	①学校評価アンケート(教師)項目16:「教職員研修に参加し、役立っていると思う。」0.80以上		
	①校内研修、OJT研修で学ぶとともに、教員同士の学び合いを活性化させ、授業や学級経営、生徒指導の改善を図ることができる。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月の職員会議において校長が教育目標や学校経営等について伝える機会にあわせて、学ぶ力向上推進リーダーと研究主任が協力して「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりやホームページ等で保護者や地域に発信する。

・全員で取り組む具体的な内容について、年間3回の校内研究会、その後に開催する「宝探しシーズン」で都度確認し、毎時間の各自でのチャレンジに生かす。

・定例職員会議では、取組の状況等を共有し、全国学力・学習状況調査等の結果や、11月～12月の学校評価における数値や意見等をもとに、改善策について校内研究推進委員会、OJTグループ、教科部会等でまとめ、12月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりやホームページ等で保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題